

民間事業者による対象公共サービスの実施状況

独立行政法人 大学入試センター
平成25年9月20日

1 対象公共サービスの内容

大学入試センター試験の出願受付業務・成績通知業務

2 対象公共サービスの内容

大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）における出願受付業務は、約56万人のセンター試験受験志願者（以下「志願者」という。）の出願受付、志願票のデータ化、受験票の発送、全国約720箇所の試験場（約9,200試験室）の試験実施に係る資料等の作成までの一連の作業を行う。また、この業務に付帯して、試験室データの更新、受験案内の印刷、センター試験利用大学等への受験案内の送付、出願関係書類の廃棄を行う。

3 確保すべき対象公共サービスの質の確保の状況

	平成24年5月～平成25年4月	
	確保すべき対象公共サービスの質	実績
実施民間事業者名	教育測定研究所 共同事業体	
(1) 出願受付業務		
① 受験案内の印刷・送付作業	印刷・送付作業を仕様書のとおりに行うこと。	仕様書のとおり印刷し送付できた。
	送付に当たり、指定の場所、部数、期日を厳守すること。	指定の場所、部数、期日を厳守し送付できた。
② 試験室データの更新作業等	センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。	次のとおり仕様書の変更を行った上でセンターの点検によって指摘された誤りをすべて修正した。 ○「地理歴史、公民」「理科」の2科目受験の導入に伴い、受験科目選択パターンごとに試験室の割り当てをすることになったことから、大学からの要望等によるデータ更新の件数の増加が見込まれたため仕様を変更した。（データ件数2,700件→5,000件）
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
③ 出願関係郵便物の確認・搬入作業	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
	郵便物の開封、汚損、紛失、盗難がないこと。	郵便物の開封、汚損、紛失、盗難はなかった
	郵便物の通数確認について、誤りがないこと。	誤りはなかった。

④ 出願の受付作業	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
	仕様書に記載されている、民間事業者が処理すべき、志願票等については不備を解消すること。	すべて不備を解消した。
	仕様書に記載されている、センターに回送すべき志願票等については、漏れなくセンターに回送すること。	回送すべき志願票等については、漏れなく回送された。
	志願票等の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
⑤ 志願票のデータ化作業	志願票のデータ作成作業を仕様書のとおり行うこと。	次のとおり仕様書の変更を行った上で志願票のデータ作成作業を行った。 ○ 確認はがきによる登録教科の変更を認めたことから、データ更新の件数の増加が見込まれたため、仕様を変更した。 (データ件数3,000件→10,000件)
	志願票のデータ作成作業について、実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
	志願票のデータ作成作業について、初回納品時の志願票データ及び精査用志願票データの精度については誤入力率を各々2%以内とすること。	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○ 初回納品時の志願票データA実績 0.57%(誤入力数3,300件/総入力数581,312件) ○ 精査用志願票データB実績1.68%(誤入力数9,787件/総入力数581,312件)
	受験特別措置申請書のデータ作成作業を仕様書のとおり行うこと。	仕様書のとおりデータ化できた。
	受験特別措置申請書のデータ作成作業について、実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
	受験特別措置申請書のデータ作成業務について、初回納品時の申請書データ及び精査用申請書データの精度については誤入力率を各々2%以内とすること。	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○ 初回納品時の申請書データA実績 0.36%(誤入力数6件/総入力数1,630件) ○ 精査用申請書データB実績0.36%(誤入力数6件/総入力数1,630件)
	確認はがきの印刷・印字・送付業務を仕様書のとおり行うこと。	仕様書のとおり印刷・印字・送付できた。
	確認はがきの印刷・印字・送付業務について、実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
志願票のデータ作成、受験特別措置申請書のデータ作成及び確認はがきの印刷・印字・送付作業について、センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。	指摘のとおり修正できた。	

	<p>志願票，志願者データ，申請書，申請書データ及び確認はがきデータの汚損，紛失，漏洩，盗難がないこと。</p>	<p>汚損，紛失，漏洩，盗難なく実施できた。</p>
<p>⑥ 受験票等の印刷・印字及び発送作業</p>	<p>受験票の印刷・印字及び「受験上の注意」の印刷並びに発送作業を仕様書のとおりに行うこと。</p>	<p>次のとおり仕様書の変更を行った上で受験票の印刷・印字及び「受験上の注意」の印刷並びに発送作業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受験教科の登録制の導入に伴い，受験票の仕様を変更した。* ○ 受験者への周知が必要な事項が増加したため「受験上の注意」の仕様を変更した。（12ページ→20ページ） ○ 「受験上の注意」のページ増により，送付郵便物の個数が増えたため送料を増額した。 ○ 郵便局から「受験上の注意」は信書に該当し「ゆうパック」では送付できないとの指摘を受けたことから，仕様を変更し第1種郵便による送付に切り替えた。* <p>センターに回送すべき受験票を漏れなくセンターに回送すること。</p> <p>実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</p> <p>受験票及び受験票データの汚損，紛失，漏洩，盗難がないこと。</p>
<p>⑦ 試験実施に係る資料等の印刷・印字作業</p>	<p>印刷・印字作業を仕様書のとおりに行うこと。</p>	<p>次のとおり仕様書の変更を行った上で印刷・印字作業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受験者に受験上の注意を徹底するため，従来，受験番号だけを印字していた「受験番号票」の仕様を変更し，受験上の注意事項を印字した。 ○ 受験教科の事前登録制の導入に伴い，「受験状況調査票」の仕様を変更し，各試験時間帯ごとに，登録者情報があらかじめ記載されたものとした。* ○ 受験教科の事前登録制の導入に伴い，問題冊子を配付する際に登録者かどうかを確認するため，仕様を変更し，「問題冊子配付確認表」を新たに作成した。 ○ 「地理歴史，公民」「理科」の2科目受験の導入に伴い，試験室における席順が，受験科目選択パターンを踏まえた複雑なものになったため，仕様を変更し，本人確認を容易にするため新たに50音順の志願者名簿を作成した。

	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
	試験実施に係る資料等及びセンターから受領したデータの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	試験実施に係る資料等及びセンターから受領したデータの汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
⑧ 出願書類等の廃棄作業	出願書類等の廃棄を仕様書のとおりに行うこと。	仕様書のとおり廃棄できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
(2) 成績通知業務		
① 成績通知変更届のデータ入力作業	データ入力作業を仕様書のとおり行うこと。	仕様書のとおりデータ化できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
	初回納品時の成績通知変更届データ及び精査用データの精度については誤入力率を2%以内とすること。	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○ 初回納品時の成績通知変更届データA実績1.32% (誤入力数17件 / 総入力数1,285件) ○ 精査用成績通知変更届データB実績1.32% (誤入力数17件 / 総入力数1,285件)
	センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。	指摘のとおり修正できた。
	成績通知変更届及び成績通知変更届データの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	成績通知変更届及び成績通知変更届データの汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
② 成績通知書の作成・発送作業	成績通知書の作成・発送作業を仕様書のとおり行うこと。	仕様書のとおり作成・発送できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールのとおり実施できた。
	センターに回送すべき成績通知書を漏れなくセンターに回送すること。	センターに回送すべき成績通知書は漏れなくセンターに回送された。
	印刷・印字出力した成績通知書の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	汚損、紛失、漏洩、盗難なく印刷・印字出力できた。
4 対象公共サービスの実施に要した経費		
実施期間	平成24年5月～平成25年4月	
実施民間事業者名	教育測定研究所 共同事業体	
支払額	208,506,438円	
(参考) 落札金額	195,300,000円(単年度分)	

次の契約変更により、落札金額に対して、支払額が13,206,438円増加した。

1. 「地理歴史、公民」「理科」の2科目受験の導入に伴い、受験科目選択パターンごとに試験室の割り当てをすることになったことから、大学からの要望等によるデータ更新の件数の増加が見込まれたため仕様を変更した。(データ件数2,700件→5,000件)(65,848円の増, 上記表中3-(1)-(2))
2. 確認はがきによる登録教科の変更を認めたことから、データ更新の件数の増加が見込まれたため、仕様を変更した。(データ件数3,000件→10,000件)(108,108円の増, 上記表中3-(1)-(5))
3. 受験者への周知が必要な事項が増加したため「受験上の注意」の仕様を変更した。(12ページ→20ページ)(2,090,293円の増, 上記表中3-(1)-(6))
4. 「受験上の注意」のページ増により、送付郵便物の個数が増えたため送料を増額した。(3,035,312円の増, 上記表中3-(1)-(6))
5. 受験者に受験上の注意を徹底するため、従来、受験番号だけを印字していた「受験番号票」の仕様を変更し、受験上の注意事項を印字した。(4,672,878円の増, 上記表中3-(1)-(7))
6. 受験教科の事前登録制の導入に伴い、問題冊子を配付する際に登録者かどうかを確認するための「問題冊子配付確認表」を新たに作成した。(2,498,761円の増, 上記表中3-(1)-(7))
7. 「地理歴史、公民」「理科」の2科目受験の導入に伴い、試験室における席順が、受験科目選択パターンを踏まえた複雑なものになったために、本人確認を容易にするため新たに50音順の志願者名簿を作成した。(735,238円の増, 上記表中3-(1)-(7))

※ 上記以外の仕様変更(表中*表示)については、支払額の変更はなし。